

令和7年



8 月

健やか子育てだより

大田区保育サービス課
保 育 園 看 護 師

今月のテーマ

水の事故

夏はプール、海、川など水遊びをする機会が増えます。子どもたちにとっては楽しい体験の一方で、毎年多くの水の事故が発生するので気をつけましょう。

<子どもがおぼれる…>

水深が浅い場所でもおぼれることがあります。

口と鼻が水に浸かれば呼吸できません。5分以上続くと脳に後遺症が残るおそれがあります。

おぼれるときは、声や音を出さずに静かに沈むことがあります。

近くにいたとしても、ずっと見ていなければ気づくことができない可能性もあります。

少し時間、少しの水量だからと油断は禁物です。



水があるところでは、子どもから目を離さず手の届く範囲で見守りましょう。



<事故を防ぐポイント>

～子どもを守るために大人が気をつけたいこと～

【安全な行動を心がけましょう】

- ・危険を示す掲示板がある場所、立ち入り禁止の場所には近づかない
- ・監視員やライフセーバー等が常駐する海水浴場の遊泳エリアやプールを選ぶ
- ・河口付近、堤防沿い等の人工物付近、岩場など離岸流が発生しやすい場所には入水しない



【危険を把握しましょう】

- ・天気予報、川の水位や海の安全情報を確認する
- ・上流の雨による急な増水に注意する
- ・河川は穏やかに見えても地形などの影響で深みや急な流れがあることを知る
- ・海の状況は日ごと、時間ごとに変化する風向きや波の高さ、満潮・干潮を確かめる
- ・暗くなる前に水から離れる



【事前準備を忘れずに】

- ・準備運動を行う
- ・水辺でのレジャーではライフジャケットを着用し、滑りにくく脱げにくいのかとの履物を履く
- ・いつでも助けを呼べるように携帯電話を持参する



【もしもに備えて日頃から】

- ・救命講習を受講する
- ・帽子やサンダルなどの持ち物が流されても取りにいかないことを子どもと約束する
- ・水辺の安全について学習できる資料やサイトを子どもといっしょに見る

